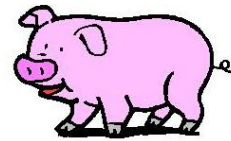


ゴールデンウィークにおけるアフリカ豚熱・豚熱等への防疫対策を徹底しましょう

アフリカ豚熱（ASF）については、中国以外においても、モンゴル、ベトナム、香港、韓国、フィリピン等の多くのアジア地域で発生が確認されています。豚熱（CSF）については、現在、一部の地域を対象に飼養豚へのワクチン接種が実施され、国内での発生は収まっている状況ではありますが、ASF等のワクチンが実用化されていない家畜伝染病のことを念頭に置くと、やはり発生予防対策に万全を期すことが不可欠です。

ゴールデンウィークを迎えるにあたり、飼養衛生管理基準を遵守し、防疫対策を引き続き徹底してください。



農場を守るために

- ① 海外渡航の自粛
- ② 病原体の持ち込みの防止



- ・ 看板の設置等により、必要のない者を衛生管理区域や畜舎に立ち入らせないようにすること。また、不要な物を持ち込まないこと。
- ・ 衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合、又は物を持ち込む場合には、手指の消毒、専用靴の着用、物品の消毒等を行うこと。
- ・ 野生動物や野鳥を、衛生管理区域や飼料保管場所に入れないようにすること。
(防護柵の設置、防鳥ネットの設置、周辺の除草 など)

- ③ 毎日の健康観察
- ④ 異常の早期発見・早期通報 (→ むつ家保または獣医師へ)

CSF

2018年9月以降
日本で発生継続

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典:岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

ASF

2018年8月以降
中国で発生継続

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、
急性では発熱が見られます。

異状を発見したら直ちに通報しましょう!



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典:国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

口蹄疫

39℃以上の発熱

と

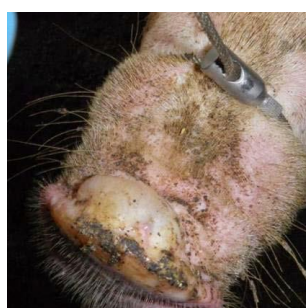
- ・泡状のよだれ
- ・歩き方がおかしい
- ・起立できない
- ・泌乳停止あるいは乳量の大幅減少

のいずれかの
症状を示し

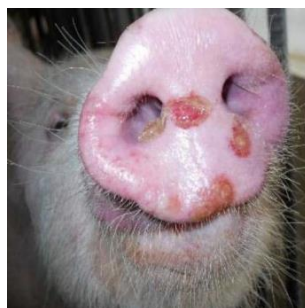
口の中、唇、鼻、蹄、
乳房のいずれかに
水疱、びらん、潰瘍
または痂痕がみら
れる。



蹄球部皮膚のびらん、潰瘍



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱、びらん、痂皮

上記の症状が見られたら、直ちに当所へ連絡してください

むつ家畜保健衛生所

電話:0175-22-1254

夜間・休日:090-5841-6810